



沖縄総合事務局 広報誌／第375号

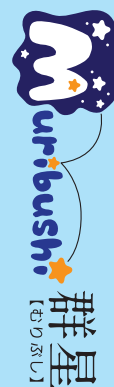
群星

【むりぶし】

1月2号 2018月号

隔月発行

January
February



1月2号 2018月号

広報誌／第375号 編集・発行／内閣府沖縄総合事務局総務部総務課
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 TEL.098-866-0031(代表)



対談

沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄

沖縄総合事務局長 能登 靖 琉球大学名誉教授 高良 倉吉

特集

平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル 暫定供用

海洋博公園
OCEAN EXPO PARK

沖縄国際洋蘭博覧会2017大賞株
(内閣総理大臣賞)
Rhy. gigantea 'White'
徳里 衛氏 (沖縄県)



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2018

沖縄国際洋蘭博覧会

2018年2月3日[土]ー2月12日[祝]

海洋博公園 熱帯ドリームセンター | 午前8時30分～午後5時30分 (入館締切は午後5時)

[お問い合わせ] 海洋博公園管理センター 植物管理チーム
TEL: 0980-48-2741 (代) FAX: 0980-48-3785

～ 美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>
広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。



- | | |
|------------|--|
| 1 対 談 | 沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄
沖縄総合事務局長 能登靖 × 琉球大学名誉教授 高良倉吉 |
| 4 特 集 | 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用 |
| 6 仕事の窓1 | 商工会との懇談会 ～久米島・読谷・恩納・八重瀬・伊良部～ |
| 7 仕事の窓2 | 入札談合の防止に向けて ～研修会を開催しました～ |
| 仕事の窓3 | 金融庁業務説明会の開催 |
| 8 仕事の窓4 | 第55回 法人企業景気予測調査(平成29年10～12月期調査) |
| 10 仕事の窓5 | 金融行政に係る関係機関との連携 |
| 仕事の窓6 | 第6回 ご当地! 絶品うまいもん甲子園決勝大会 ～向陽高校が特別賞を受賞 県内限定商品化の予定～ |
| 11 仕事の窓7 | 食肉情報出張講座 ～国産食肉の美味しさと安全・安心の確保について考える～ |
| 仕事の窓8 | GAPの普及推進に向けた講演会 ～GAPの価値を共有するフードチェーン連携パートナー会を開催～ |
| 12 仕事の窓9 | 沖縄における観光農園推進検討会 |
| 仕事の窓10 | 農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞伝達式 ～博愛の里上野(宮古島市)～ |
| 13 仕事の窓11 | 「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」で糸満市観光まちづくり協議会が優良事例として選定 |
| 仕事の窓12 | 「沖縄大交易会2017」併催事業を実施 |
| 14 仕事の窓13 | 『2017日米亜医療機器イノベーションフォーラム沖縄』を開催しました |
| 仕事の窓14 | 新たな自動車検査員誕生 ～11月6～9日開催の教習結果～ |
| 15 仕事の窓15 | 公共交通事故被害者等支援フォーラム |
| 16 仕事の窓16 | バリアフリー教室in宮古島市 |
| 17 仕事の窓17 | 自動車保有関係手続のワンストップサービス(OSS)運用開始 ～利用者利便の向上を目指して～ |
| 18 内閣府だより | 次世代を担う高校生が話し合う! ～『「世界津波の日」2017高校生島サミット in 沖縄』～
あかま副大臣の沖縄訪問/山下政務官の沖縄訪問 |
| 19 なかゆくい | 訪日外国人旅行者向けマナー動画の作成 |
| 21 お 知 ら せ | 平成29年度 国有財産一般競争入札(期間入札)のお知らせ |



沖縄総合事務局長

能登靖

琉球大学名誉教授

高良倉吉

沖縄総合事務局では、対談企画として「沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄」をテーマに、琉球大学名誉教授の高良倉吉先生と能登靖沖縄総合事務局長との対談を行いました。高良先生から大交易時代の琉球などについて話を伺いこれからの沖縄についてメッセージをいただきました。

能登 沖縄が日本に復帰して45年を迎えました。政府は5次にわたり特別措置法を制定し、沖縄振興に取り組んできました。私自身も5年前に行われた法律改正に関わり感慨深いものがあります。当時、アジアとの交流、大交易時代をもう一度現代に甦らそうという議論があり、法律の中に国際物流特区の制度が盛り込まれました。あと5年で沖縄振興も半世紀を迎えますが、過去を振り返りながら、今後10年、20年先の沖縄についてお話しをお聞かせいただければと思います。

高良 私自身、小さな島で生まれ育ったものですから、復帰前の離島の生活の大変さというのは今でも記憶に残っています。この45年で随分変わりました。かつてダムの整備が遅れていた時代には、断水による給水制限が頻繁にあり、不便を余儀なく

「つくるもの、残すもの」

対 談 沖 縄 の 歴 史 、 文 化 か ら 見 る こ れ か ら の 沖 縄

能登 沖縄は豊かな自然や歴史を有する地域です。インフラ整備を進める側としては、古くて良いものを大切にしながらということを常々感じています。

高良 亜熱帯の自然環境はデリケートです。一切手を付けないということができればよいのですが、県土面積には限りがあり、地域で生活する人にとっては、利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何に手をつけて、何を守るのか分けて整理した上で、いかに環境に負荷をかけず開発していくか知恵を出すことが大事です。環境保全と経済活動の両立は不可能ではなく、そのための知恵を皆で出し合っていくことが大切だと思います。

能登 沖縄の観光は非常に順調で来訪者はハワイを抜いたという数字もあります。沖縄の魅力としてよくあげられるのは、美しい海や自然などリゾートとしてのイメージですが、

沖縄のもつ
多面的な魅力を人々に

表紙写真
新春を寿ぐ、
琉球王国の栄華



儀式の一つ
「大通り」の場面

首里城公園では、毎年元旦から3日まで公園イベントとして「新春の宴」が開催されます。琉球王国時代に首里城で執り行われた儀式「朝拝御規式」を再現します。表紙は儀式のひとつで、「子の方御拝」の場面です。天の神様への拝みの儀式であり、国王をはじめ、諸官、庶民の代表が参列し、新年を寿ぎ、平和・平穏を祈願する儀式です。唱和の際の「ワンスイ」という言葉は「万歳」の意味です。

写真提供：一般財団法人沖縄美ら島財団

本誌のタイトルについて

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂星(すばるぼし)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄

沖縄総合事務局長

能登靖

琉球大学名誉教授

高良倉吉



高良倉吉 (たから・くらよし)

伊是名村出身。琉球大学名誉教授。専門は琉球史、特に琉球王国の内部構造、アジアとの交流史を研究。昭和46年愛知教育大卒、平成5年「琉球王国史の基礎的研究」で文学博士（九州大学）。沖縄史料編集所、沖縄県立博物館、浦添市立図書館長を経て、平成6年琉球大学教授、平成25年、26年沖縄県副知事。首里城復元委員、NHK大河ドラマ「琉球の風」監修者



歴史文化なども非常に個性的、魅力的なものがあるように感じます。
高良 観光客の増加は喜ばしい限りですが、滞在日数が少なく、沖縄の多面的な魅力にまだまだアクセスできていないと感じます。沖縄には、琉球時代から培われてきた文化や芸能、伝統行事が各地域で受け継がれ、今でも暮らしの中に息づいています。広大な海域に個性豊かな島々が点在し、沖縄本島とは違う島独自の方言や行事も残っています。島々で語り継がれる歌や踊り、伝統行事や祈り。沖縄自体が非常に厚みのある、奥行きのある社会です。沖縄に来られる多くの方々にこうした魅力をもっと知ってもらいたい、体感してもらいたいと思います。

島々で捧げられる女性たちの祈り

能登 伝統行事や祈りの話ができましたが、沖縄には人々の祈りの場所である拝所がとて多く驚きます。何か理由があるのでしょうか。
高良 人々が暮らす集落のことを方言ではシマと言ったのですが、それぞれのシマでは複数の聖域があり、そこで女性たちが祈りを捧げていました。この場所が御嶽です。水不足

や台風など沖縄は自然環境の厳しい土地です。神に祈りをささげ、米をつくり、魚をとる。収穫や漁が無事終わると神へ感謝する。集落の数だけ年中行事があり、それに対応する聖なる場所がある。首里城ではこれら各地域で行われていた行事を総括したものが行われ、斎場御嶽は聖なる場所の頂上に位置するものでした。城（グスク）というとしても政治や軍事拠点のイメージですが、沖縄では聖域でもあり、首里城には女性たちが祈りを捧げる極めて重要な場所がありました。

海洋国家を支えたもの

高良 沖縄には神々に捧げた歌が多く残っています。「おもろさうし」という古い歌集がありますが、圧倒的に多いのが航海の無事を祈る歌です。海洋文化を支える精神世界を見事に表現しています。
能登 大交易時代、琉球の人たちは進貢船で、遠く中国、日本、東南アジアを往来したと聞きます。
高良 進貢船は中国から導入したジャンク型の船で、当時世界で最も優れた技術で建造されたものでした。それに匹敵するのはアラビア海で使われていたダウ船です。大交易時



琉球の時代に見るこれからの沖縄

代を支えたのは、造船技術、操船技術、気象や天体の知識など最先端の技術だったと考えます。女性たちを中心とした祈りや精神世界が非常に豊かであったと同時に、大海原を越えて移動する技術を豊富に有していた。技術、知識、精神、人材などすべて備えていたからこそ、小さな国が世界を相手に交易することが可能になったのだと思います。

能登 琉球王国時代には、中国から多くの技術者、知識人が来訪し、久米村に定着し、貿易実務や国家経営などを担ったと聞いています。

高良 当時中国は世界で最も繁栄した力のある国家の一つでした。中国の福建から渡ってきた人が多いのですが、福建は中国の中でも、高い造船技術や航海術を有する地域でした。福建を中心とする人たちがやがて琉球に定着するようになります。当時の琉球は中国から大学の留学枠も認められていました。久米村の子孫たちが、中国に留学し技術や知識を習得して沖縄に戻り、貿易実務に関与したり、琉球王国の中枢で国家経営にも関与するようになります。日本

本土からも禅宗の僧侶を招きます。僧侶は当時の知識人で外交アドバイザー的な存在でした。そのような人材を活用して、日本本土との外交や貿易を行ったのです。
能登 今の話を聞いていると、これからの沖縄の可能性が見えてくるような気がします。
高良 中国や日本本土から移り住んだ人たちは、やがて琉球の社会に溶け込み、この地域の発展にどういうふうな力を尽くすかと使命感を持つようになります。僕はいつも言うのですが、ウチナーンチュという言葉は、なにも血のつながりだけをいうのではない。この地域に住み、この地域を面白くする、この地域に参画し、この地域の発展に寄与する人すべてをウチナーンチュというのだと考えます。大交易時代、アジアに羽ばたいた時代に琉球がそれをやっていったのですから。

能登 琉球の時代は外に開かれ、他の地域や国から沢山の人の受け入れ、発展してきたということですね。これからの沖縄の発展を図る上でもとても重要な点だと思います。高良先生本日は大変お忙しい中、たくさん示唆にとんだお話をお聞かせいただきありがとうございました。どうもありがとうございます。



能登 靖 (のと・やすし)

富山県出身。沖縄総合事務局長。昭和63年京大卒、通商産業省入省。平成22年内閣府参事官（沖縄政策・産業振興担当）として沖縄振興特別措置法改正に携わる。平成24年沖縄総合事務局経済産業部長、平成26年NITEバイオテクノロジーセンター所長、平成28年より現職



平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業

- 整備施設: RORO船・クルーズ船対応
水深:-7.5~-10m、延長:440m(耐震220m、暫定供用295m)
- 整備箇所: 平良港漲水地区
- 事業期間: 平成24年度～平成36年度
(平成29年12月16日暫定供用)
- 港湾整備事業費: 168億円



- 水域の狭隘化を解消し、季節風の影響を受けない形状の岸壁を整備。
- 大型コンテナの荷役作業に必要とされる面積の埠頭用地を整備するとともに、老朽化した施設を改良。
- 大規模地震時の緊急物資輸送に対応するため、耐震強化岸壁を整備。
- クルーズ需要及びクルーズ船の大型化に対応するため、岸壁を延伸し、バース延長及び必要水深を確保。

事業の効果

- 岸壁の整備によって海難が減少するとともに定期航路の安定化に寄与します。
- 岸壁、埠頭用地の拡張などにより荷役が効率化し、荷役コストが削減できます。
- 岸壁の耐震化により、震災時の施設被害が回避されるとともに、緊急物資の輸送が可能となります。
- 複合一貫輸送により荷役コストが削減されます。
- 岸壁の整備によって市街地近くで外航クルーズ船の対応が可能になり、国際観光収益や営業収益の増加が期待されるとともに、市民との交流機会が増加します。

おわりに

本事業や、官民連携によるクルーズ拠点の整備などの社会資本整備だけでなく、タクシー・バスなどの二次交通の確保やふ頭における旅客の安全対策、物販店の充実等による旅客利便性の向上など、増加するクルーズ客の対応のためにはソフト面の整備も必要不可欠です。

今後も他部局や自治体などの関係各所と緊密に連携し、宮古島のみならず沖縄全体の発展のために様々な取組を進めて参ります。

平良港の今後

昨年7月、国土交通大臣より平良港を含む全国6港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、官民が連携して国際クルーズ拠点形成に向けて必要な取組を進めていくこととなりました。平良港においては、国や港湾管理者である宮古島市の整備と合わせ、民間船社であるCarnival Corporation & plc Asia Pte. Ltd.の投資による旅客ターミナルビルが整備される予定です。また、同港トゥリバー地区においては、三菱地所の参入によりリゾート開発が進められるとともに、下地島空港の開発等、観光関連の開発が進められており、建設資材及び観光関連物資等の増加が見込まれる状況です。

この様な状況から、本事業については今回の暫定供用に引き続き、同施設の完全供用に向け、鋭意整備を推進していく必要があります。

平良港漲水地区 複合一貫輸送ターミナル 暫定供用

特集

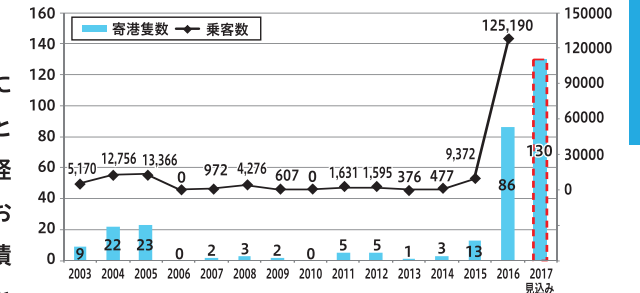
平良港は、離島圏宮古の生活・産業の生命線たる海上輸送の拠点港湾として重要な役割を担っています。しかしながら、埠頭用地の狭隘化や耐震岸壁の未整備など、物資の安定供給や旅客の安全性に問題を抱えています。これを解決すべく、平成24年度より「平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業」を行っています。この中で整備を進めている岸壁440mのうち、昨年12月16日に南側の295mの暫定供用が開始され、記念式典が開催されました。式典では山下沖縄担当大臣政務官、高橋国土交通大臣政務官より、今回の暫定供用により、船舶の大型化への対応や安全かつ安定した岸壁機能が確保されることとなることを、関係者や島民の皆さんと共有しました。



暫定供用式典の開催

宮古地域及び平良港の現状

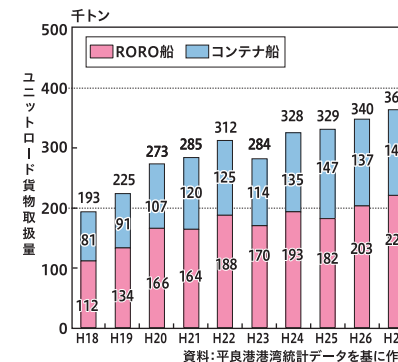
宮古地域は沖縄本島から南西に約300km、東京から約1800kmに位置し、大小8つの有人島で構成され、宮古島はその地域経済の中心となっています。宮古地域の物流拠点である平良港は沖縄本島(那覇港経由・鹿児島)や石垣島に加え、台湾・中国との間に定期航路が就航しており、島民の生活物資の受入れや周辺離島である多良間島への貨物の積み替え拠点として重要な役割を担っています。また右のグラフを見るとわかるように、近年はクルーズ船の寄港も急増しています。しかしながら、前述の通り、平良港は埠頭用地が狭隘なため非効率かつ危険な荷役作業を強いられており、また耐震岸壁が未整備であるなど、物資の安定供給や旅客の安全性に問題を抱えているため、平成24年度より「平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業」に着手したところです。



スーパースターリブラ 4万2千トン
(定員1,472人、乗組員700人)

平良港における課題

貨物の取扱量や、クルーズ船の寄港数が近年増加している平良港ですが、以下のような課題があります。



(輻輳する荷さばき)

- 定期RORO船の大型化に伴い水域が狭隘化している上に、岸壁が北東風の影響を受けやすい形状となっており、その結果、岸壁への接触事故、抜港及び遅延等が発生しています。
- 沖縄県内において沖縄本島、石垣島、宮古島の中で耐震強化岸壁が未整備であるのが宮古島のみであり、被災時には島民生活に甚大な影響を与えることが危惧されています。
- 輸送形態の変化(シャーシ、トラック比率の増加)により、荷捌き地が不足しており、荷役作業の効率および安全性が低下、また貨物、シャーシなどが埠頭用地内から溢れ、通過交通を阻害するなどの問題が発生しています。
- 建設後30年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、ひび割れや、防砂シートの破損等による大規模な陥没の危険性が高まっており、荷役作業の安全性に不安がある状況にあります。
- 埠頭用地が狭隘であるため、コンテナ貨物の増大に伴い荷役効率が低下しており、他港に比べて過度な荷役時間を要しています。更に、40FTコンテナの取り回しができないため、定期コンテナ航路(那覇～平良～石垣(～台湾))全体の物流効率化を進めるにあたり、平良港がボトルネックとなっています。
- 背後ヤードが狭隘であるため、ヤード外までコンテナ貨物の横持ち輸送を行うなど、非効率な輸送体系を強いられている状況にあります。
- 平良港において寄港需要が高まっている外航クルーズ船への対応が求められています。

商工会との懇談会

～久米島・読谷・恩納・八重瀬・伊良部～

総務部公正取引室では、県内各地の商工会議所・商工会と当室室長との懇談を通じて競争政策の理解を深めるため、「有識者との懇談会」を開催しています。

29年度は、久米島町(6月28日)、読谷村(8月23日)、恩納村(9月8日)、八重瀬町(9月13日)、宮古島市伊良部(11月7日)の5カ所で開催しましたので、その様子をご紹介します。



総務部公正取引室では、「自由経済社会における公正かつ自由な競争を促進する」という目的を達成するため、日々、独占禁止法、下請法、景品表示法(※)、入札談合等関係行為防止法、消費税転嫁対策特別措置法といった所管法律を厳格に運用しています。

また、違反行為を未然に防止するため、所管法律の普及・啓発、相談対応にも力を入れています。

その一環として、平成4年度から毎年、県内各地の商工会議所や商工会を回り、「有識者との懇談会」を開催しています。

懇談会の様子

始めに、福田室長から、公正取引委員会の活動のほか、次の内容について説明しました。

- ・独禁法で定める禁止行為
- ・過去の違反事例(パソコン部品メーカーによる私的独占、旅行者によるカルテルなど)
- ・沖縄県内の過去の違反事例(観光土産品の過大包装など)

意見交換の様子

続いて、商工会役員の方々と地域の役場担当課長などと意見を交換しました。

- ・各地域における経済社会の実情
- ・所管法律に関する幅広い意見
- ・公正取引委員会への意見・要望



懇談会で寄せられた主な質問

- ・事業者の団体であれば、価格などを取り決めてもよいのか。(事業者団体が、団体の意思決定によって価格などを決めることは

公正取引委員会が運用する法律

昭和22年	①独占禁止法	公正取引委員会設置
昭和31年	②下請法	
昭和37年	③景品表示法	平成21年消費者庁へ移管
平成14年	④入札談合等関係行為防止法	
平成25年	⑤消費税転嫁対策特別措置法	

※景品表示法は、平成21年に消費者庁へ移管しましたが、公正取引室では情報提供や調査、相談を受け付けています。

総務部公正取引室 ☎098-866-0049



独禁法で禁止されています。商品の購入者全員に景品をプレゼントする場合、景品の最高額は幾らか。(商品の値段が千円未満であれば景品は200円となり、千円以上であれば商品の値段の2%の価格となります。)

入札談合の防止に向けて 研修会を開催しました

総務部公正取引室では、入札談合の未然防止を徹底するため、例年、独占禁止法及び入札談合等関係行為防止法の研修会を開催しています。

今年度も中南部及び宮古・八重山地区の市町村の職員(10月25日)、在沖国家機関及び政府出資法人の職員(11月10日)、沖縄県の職員(11月13日)、北部地区の市町村の職員(12月13日)を対象に研修会を開催しました。



説明を受ける受講者の様子

特別地方公共団体の職員を対象とした研修会(12月6日)も開催しました。

これらの説明会では、入札談合が疑われる状況の説明や入札談合をしてほしいということ、発注機関の職員が入札談合に関与した場合、どのような処分が下されるのかなどについて、過去の入札談合の事例を踏まえながら説明を行いました。



説明の様子

参加者は、真剣な面持ちで講師の説明に耳を傾けていました。

さらに、当室では、入札談合等関係行為防止法について、発注機関からの講師派遣の御要望についても対応しています。お気軽に御連絡ください。

総務部公正取引室

☎098-866-0049

金融庁業務説明会の開催

財務部では、11月6日、那覇市厚生会館において、金融庁総務企画局の古澤審議官を講師に招いて「金融庁業務説明会―中小企業への円滑な資金供給や経営課題の解決支援に向けて―」を開催しました。

【説明会の内容】

説明会では、地域金融機関における事業性評価、経営者保証に関するガイドラインなど、地域金融をめぐる状況や取組みについて説明を行いました。説明後、金融仲介機能のベンチマークや、金融機関が金融仲介機能の取組みを実践していく上での課題について質疑応答があり、盛況のうちに終了しました。

【参加者の反応】

当日は中小企業経営者や経済団



説明会の様子

体、金融機関などから多くの方々が来場されました。

来場された方からご回答頂きましたアンケートを見ると、理解度については「よく理解できた」、「概ね理解できた」を合わせた割合が9割超となっているほか、説明内容について参考になった項目については、「企業から見た金融機関の評価等」が5割弱、「地域銀行の経営状況」が3割、「経営者保証ガイドライン等」が2割弱など(複数回答)となり、また、説明会全般については「説明、質疑応答の時間をもっと長くして欲しい」という感想も寄せられました。

財務部では、今後も地域の皆様へ金融行政に対する理解を深めるため、取組みを進めてまいります。

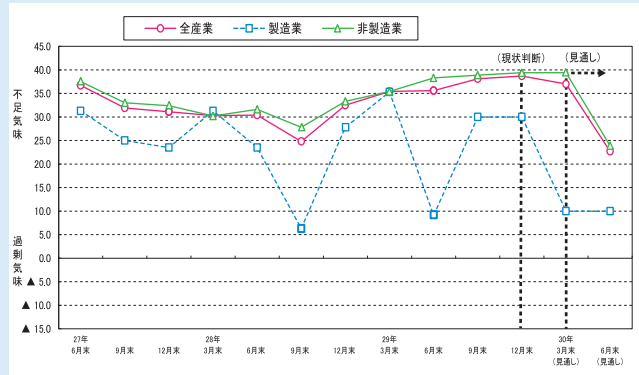
金融庁では、金融行政が何をめざし、いかなる方針で行政を行っているかについて「金融行政方針」として明確化し公表するとともに、その進捗や実績を年次で評価し、現状分析や問題提起とあわせ「金融レポート」として公表しています。金融庁ウェブサイトに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

平成28事務年度 金融レポート
<http://www.fsa.go.jp/news/29/20171025.html>
平成29事務年度 金融行政方針
<http://www.fsa.go.jp/news/29/20171110.html>

財務部金融監督課

☎098-866-0095

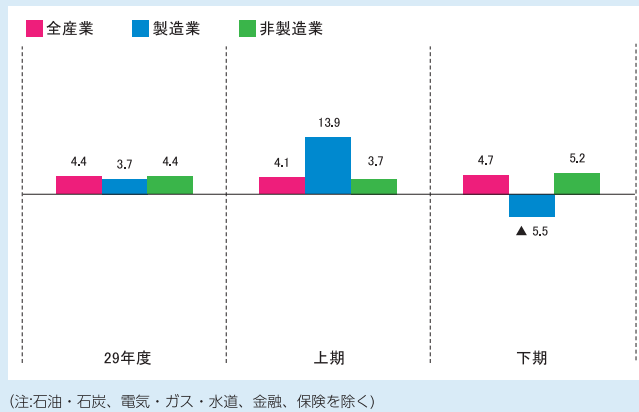
雇用 現状判断は「不足気味」超、先行きも「不足気味」超の見通し



従業員数判断BSI（原数値）					
（期末判断「不足気味」～「過剰気味」社数構成比）（単位：％ポイント）					
	29年9月末 前回調査	29年12月末 現状判断	30年3月末 見通し	30年6月末 見通し	
全産業	38.1	(31.4)	38.7	(32.2)	37.0
製造業	30.0	(20.0)	30.0	(30.0)	10.0
非製造業	38.9	(32.4)	39.4	(32.4)	23.9
建設業	59.1	(54.5)	57.1	(40.9)	57.1
情報通信業	25.0	(25.0)	37.5	(12.5)	37.5
運輸業、郵便業	45.5	(36.4)	27.3	(36.4)	36.4
卸売業、小売業	52.6	(31.6)	52.6	(36.8)	52.6
サービス業	33.3	(26.7)	41.2	(26.7)	35.3
大企業	14.3	(14.3)	19.0	(19.0)	19.0
中堅企業	50.0	(41.7)	56.0	(41.7)	48.0
中小企業	41.1	(32.9)	38.4	(32.9)	38.4

（注）（ ）書きは前回調査（29年7～9月期）時の見通し

売上高 29年度は増収見込み



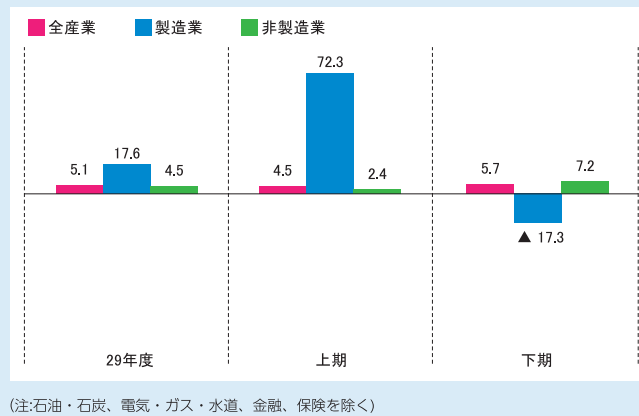
（前年同期比増減率：％）				
	29年度	上期	下期	
全産業	(3.4)	4.4	4.1	4.7
製造業	(0.9)	3.7	13.9	▲5.5
非製造業	(3.6)	4.4	3.7	5.2
建設業	(6.1)	4.1	5.4	3.2
情報通信業	(0.9)	1.7	1.4	2.0
運輸業、郵便業	(1.7)	3.3	2.8	3.8
卸売業、小売業	(4.4)	5.9	4.3	7.5
サービス業	(▲1.1)	▲1.4	▲1.3	▲1.6

（参考）全規模・全業種（金融業、保険業は調査対象外）（前年同期比増減率：％）

	29年度	上期	下期	
全産業	(4.0)	5.2	5.3	5.1
製造業	—	—	—	—
非製造業	—	—	—	—

（注）1.（ ）書きは前回調査（29年7～9月期）結果
2. —はデータ秘匿の観点から非公表

経常利益 29年度は増益見込み



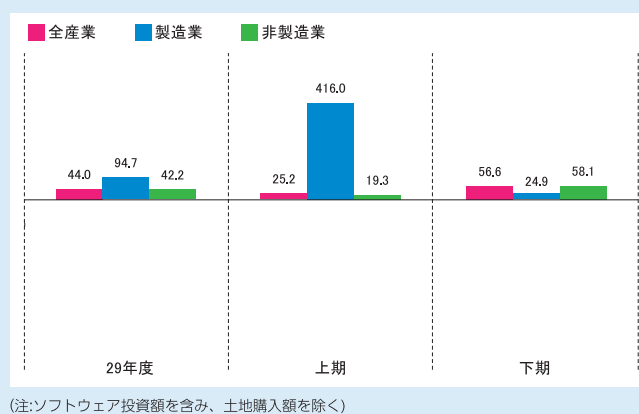
（前年同期比増減率：％）				
	29年度	上期	下期	
全産業	(2.3)	5.1	4.5	5.7
製造業	(3.1)	17.6	72.3	▲17.3
非製造業	(2.2)	4.5	2.4	7.2
建設業	(▲20.9)	▲22.6	50.9	▲36.0
情報通信業	(5.9)	12.7	▲1.7	32.8
運輸業、郵便業	(10.9)	18.4	25.4	8.2
卸売業、小売業	(0.5)	▲0.9	▲6.0	4.4
サービス業	(19.8)	▲3.4	▲6.8	36.4

（参考）全規模・全業種（前年同期比増減率：％）

	29年度	上期	下期	
全産業	(0.6)	4.1	5.4	1.7
製造業	—	—	—	—
非製造業	—	—	—	—

（注）1.（ ）書きは前回調査（29年7～9月期）結果
2. —はデータ秘匿の観点から非公表

設備投資 29年度は増加見込み



（前年同期比増減率：％）				
	29年度	上期	下期	
全産業	(45.6)	44.0	25.2	56.6
製造業	(58.4)	55.8	54.6	56.6
非製造業	(116.2)	94.7	416.0	24.9
建設業	(43.1)	42.2	19.3	58.1
情報通信業	(11.7)	7.0	▲31.9	46.7
運輸業、郵便業	(▲1.9)	10.2	93.5	▲36.5
卸売業、小売業	(192.7)	192.2	154.8	221.4
サービス業	(33.3)	43.3	69.3	▲2.4

（参考）ソフトウェア投資額及び土地購入額を除く（前年同期比増減率：％）

	29年度	上期	下期	
全産業	(46.1)	45.5	27.4	57.6
製造業	(118.9)	96.6	445.2	24.8
非製造業	(43.5)	43.7	21.2	59.2

（注）（ ）書きは前回調査（29年7～9月期）結果

第55回 法人企業景気予測調査（平成29年10～12月期調査）



BSI（Business Survey Index）の計算方法

例「景況判断」の場合

前期と比べて
「上昇」と回答した企業の構成比・・・40.0%
「不変」と回答した企業の構成比・・・25.0%
「下降」と回答した企業の構成比・・・30.0%
「不明」と回答した企業の構成比・・・5.0%

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比} - \text{「下降」と回答した企業の構成比}) \times 10.0\% \text{ポイント}$$

調査の概要

調査の目的

本調査は、企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回（2、5、8、11月）実施。

調査の時点 平成29年11月15日

調査対象期間

判断項目：29年10～12月期及び12月末見込み
30年1～3月期及び3月末見通し
30年4～6月期及び6月末見通し

計数項目：29年度上期実績
29年度下期実績見込み

調査対象企業の範囲

沖縄県内に所在する資本金、出資金又は基金（以下、「資本金」という。）1千万円以上（電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の法人
調査対象企業数及び回収状況は次のとおりである。

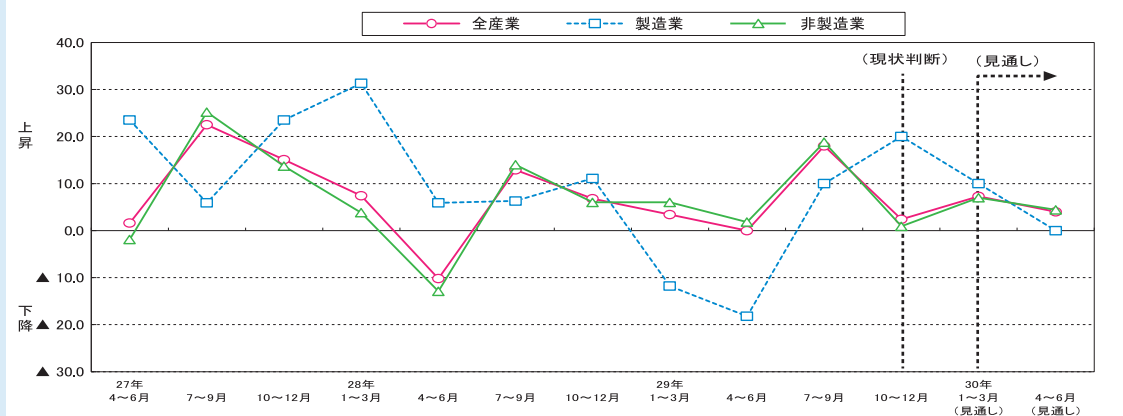
対象企業数：130社 回答企業数：124社 回収率：95.4%（単位：社）

	対象企業数	回答企業数	回収率（％）
全産業	130	124	95.4
製造業	10	10	100.0
非製造業	120	114	95.0
建設業	25	23	92.0
情報通信業	8	8	100.0
運輸業、郵便業	11	11	100.0
卸売業、小売業	21	20	95.2
サービス業	19	17	89.5
大企業（資本金10億円以上）	21	21	100.0
中堅企業（資本金1億円以上10億円未満）	26	25	96.2
中小企業（資本金1千万円以上1億円未満）	83	78	94.0

景況判断

企業の景況判断BSI（％ポイント）

現状判断は「上昇」超幅が縮小、先行きは「上昇」超で推移する見通し



企業の景況判断BSI（原数値）					
（前期比「上昇」－「下降」社数構成比）（単位：％ポイント）					
	29年7～9月 前回調査	29年10～12月 現状判断	30年1～3月 見通し	30年4～6月 見通し	
全産業	18.0	(13.9)	2.4	(12.3)	7.3
製造業	10.0	(30.0)	20.0	(30.0)	10.0
非製造業	18.8	(12.5)	0.9	(10.7)	7.0
建設業	31.8	(13.6)	13.0	(13.6)	13.0
情報通信業	12.5	(12.5)	25.0	(12.5)	12.5
運輸業、郵便業	36.4	(36.4)	27.3	(36.4)	9.1
卸売業、小売業	30.0	(15.0)	▲25.0	(5.0)	▲10.0
サービス業	20.0	(13.3)	0.0	(20.0)	23.5
大企業	9.5	(0.0)	4.8	(▲9.5)	▲4.8
中堅企業	28.0	(20.0)	0.0	(28.0)	8.0
中小企業	17.1	(15.8)	2.6	(13.2)	10.3

（注）（ ）書きは前回調査（29年7～9月期）時の見通し

金融行政に係る関係機関との連携

財務部金融監督課では、投資者保護や特殊詐欺被害の防止を目的として、10月27日、日本証券業協会が主催する「株や社債をかたった投資詐欺被害防止キャンペーン」に参加しました。具体的には、那覇市第一牧志公設市場において、リーフレットの配布や声かけを実施し、投資詐欺に対する意識向上、注意喚起を行いました。また、11月30



第一牧志公設市場にて

日、沖縄県警察学校からの要望を受け、県内警察官向けの金融商品に関する講話を行いました。参加者からは「今後の犯罪捜査にあたって大変参考になった」といった声が聞かれました。

当課は、今後も、金融行政に係る関係機関と連携を密にしながら、金融サービスの利用者保護に努めてまいります。



警察官への講話の様子

財務部金融監督課
☎098-1866-10095

第6回ご当地！絶品うまいもん甲子園決勝大会 向陽高校が特別賞を受賞 県内限定商品化の予定

11月4日(土)、「第6回ご当地！うまいもん甲子園決勝大会」が東京都において開催されました。

本大会は、農林水産省と一般社団法人全国食の甲子園協会が主催し、食を通じて農林漁業の大切さを伝えるとともに、高校生の夢を応援し、地域を盛り上げることを目的として平成24年から開催されています。

本年、第6回大会においては過去最多124校398チームの応募があり、その中から各エリア予選を勝ち抜いた8校と一般投票で選ばれた1校が決勝大会へ進出しました。

沖縄県からは、8月の沖縄選抜大会で優勝した向陽高校(八重瀬町)が出場しました。同校は沖縄そばとタコライスの具を組み合わせた沖縄らしさ満載のメニュー「わったーぬTACOそば」を審査委員に披露し、



決勝大会で特別賞を受賞した
沖縄県立向陽高等学校理科2年の
(右から)
又吉瑞映さん、長嶺伊織さん、
桃原紗希さん

「向陽高校の皆さん、特別賞受賞おめでとうございます！」

同校のメニューは、沖縄ファミリーマートとリウボウストアにおいて商品化されることが決定しており、今年、県内限定で販売が行われる予定です。

「プレゼンテーションでは、手作りのボードや人形を使い、沖縄そばとタコライスの歴史やメニュー開発の経緯などについて紹介しました。

味、アイディア、プレゼンテーションなどについて審査が行われた結果、向陽高校が特別賞である「食戦(しよくげき)のソーマ賞」を受賞し、審査員を務めた料理漫画「食戦のソーマ」の作者である附田祐斗さんからは、「好みのスパイシーさだった」とのコメントをいただきました。



第6回うまいもん甲子園決勝大会の詳細については、以下HPを御覧ください。
【うまいもん甲子園HP】
<http://www.umaimonkoshien.com/index.html>

農林水産部食料産業課
☎098-1866-11673

食肉情報出張講座 国産食肉の美味しさと安全・安心の確保について考える



品川先生によるHACCPについての講演

沖縄総合事務局では、10月10日(火)に国産食肉の美味しさや安全性について正確な情報提供を図るため、公益財団法人日本食肉消費総合センターとの共催で「食肉情報出張講座」を開催しました。

当講座で行われた基調講演では、岩手大学の品川邦汎名誉教授から、「食肉の危害分析重要管理点方式(HACCP)について」と題し、食肉関連事業者の関心事であ

るHACCPにおける危害の種類や管理の方法などを、また、女子栄養大学の西村敏英教授からは「国産和牛肉の美味しさ」と題し、和牛肉に含まれるうま味物質の効果や脂質の機能などを講演していただきました。

消費者や食肉関連事業者など63名の方が参加され、質疑応答では、実際にHACCPに取り組んでいる中々で生じている課題などについて活発な意見交換が行われました。



西村先生への質問

農林水産部生産振興課畜産振興室
☎098-1866-11653

GAPの普及推進に向けた講演会 GAPの価値を共有するフードチェーン連携パートナー会を開催

GAP(農業生産工程管理)は、農業生産活動における各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を持続的に行う取組で、食品の安全性向上や、環境の保全などにつながるものです。さらに、GAP認証を取得することが東京オリンピック・パラリンピックに提供される食材の条件となっており、また、国内外でGAP認証の取得が農産物の取引の条件となる動きが広がるなど、今後GAPの取組・GAP認証の取得を推進していくことが重要となっています。このため、沖縄総合事務局では、沖縄におけるGAP普及推進の一環として、10月31日(火)に、「GAPの普及推進に向けた講演会」を開催しました。



講演会の様子

講演会では、行政機関、生産者、食品事業者、教育関係者など100名以上が参加し、自らGAPを実践するとともに、全国で講演活動を行っているGAP総合研究所の武田泰明専務理事や、沖縄でGAPの普及に取り組む沖縄GAP協会の岸本公次氏による講演、農林水産省担当者などによりGAPの取組への支援策や食品安全に寄与するHACCP(危害分析重要管理点)の状況などに関する説明が行われました。

その後講師などによるパネルディスカッションや、参加者との意見交換も行われました。



パネルディスカッションの様子

参加者からは、「GAPの重要性が理解できた」、「導入を考えたい」等の感想が寄せられるなど、GAPについての関心の高さが伺われ、当部としては、今後とも機会を捉えてGAPの普及促進を図っていくこととしています。

農林水産部生産振興課
☎098-1866-11653

9 沖縄における 観光農園 推進検討会



コーヒー観光農園 金城代表

沖縄の観光産業は、外国人観光客の大幅な増加を背景として非常に好調に推移しており、平成33年度の観光収入1.1兆円、入域観光客数1、200万人などの目標達成に向け、沖縄県を中心に官民一体となって観光推進施策に取り組んでいるところだ。

一方、農林水産業は、観光客が沖縄の食を楽しむための食材提供の機能を有するほか、農業体験などが観光メニューの一つとして人気を集めるなど、沖縄の観光を振興する上で重要な役割を担っています。

こうした状況を踏まえ、農林水産部では、観光農園による沖縄の農林水産業を一層成長させる方策などについて検討するため、11月7日（火）に市町村担当者などを対象とした検討会を開催しました。



観光農園ポスターなど



検討会の様子

が参加し、県内訪日客の入域数や消費額の推移などの沖縄観光の現状について説明があったほか、果樹や牧場、レストランなど様々な部門を一体的に行っている観光農園や、近年、沖縄でも人気が高まりつつあるイチゴやコーヒーの収穫体験を取り入れた観光農園などが紹介されました。

参加者からは、「行政、地域を巻き込んだネットワーク作りが必要」など多くの意見が寄せられました。

農林水産部農政課

☎098-866-11627

10 農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞伝達式 ～博愛の里上野(宮古島市)～



農林水産大臣賞伝達式の様子

当部では11月17日（金）に、「平成29年度農林水産祭むらづくり部門農林水産大臣賞伝達式」を行いました。農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されています。

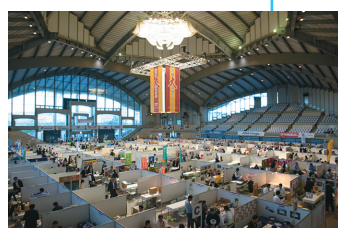
そのうち、豊かなむらづくり全国表彰事業（むらづくり部門）は、農林水産業の振興を中心に、生活、文化などを含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図る優良事例の表彰を通じて、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的としています。

本年度は、北海道・沖縄ブロックから推薦した「博愛の里上野」が農林水産大臣賞を受賞しました。

「博愛の里上野」は、1873年（明治6年）、宮古島の上野宮国沖で座礁したドイツ商船ロベルトソン号の乗組員を地域の人々が救助した歴史的背景を受けて、先人の博愛の精神を受け継ぎ、伝統芸能や伝統行事を大切に守り続けてきた地域です。

当地域は、ゴーヤーやとうがんなどの拠点産地の認定を受けるなど農業・生産の盛んな地域で、創意工夫を重ねて過疎化を食い止めるなど、「博愛の

12 「沖縄大交易会 2017」併催 事業を実施



沖縄大交易会2017

11月27日・28日、日本最大規模の国際食品商談会「沖縄大交易会2017」が、沖縄コンベンションセンターにおいて開催されました。本交易会では、全国から292社のサプライヤー、国内外から270社のバイヤーが参加し、2日間で約3,000件の商談が行われました。

当部では、併催事業として以下のイベントを同時開催しました。

第8回地域商社協議会 @沖縄大交易会

沖縄大交易会2日目のシンポジウムとして、第8回地域商社協議会@沖縄大交易会を開催いたしました。国内各地の企業や自治体関係者約160名が参加し、県内外の地域商社が取り組む海外展開についての事例紹介やパネルディスカッション、行政関連機関による支援施策の紹介などを行いました。（県内地域商社からは、(株)新垣通商、(株)沖縄県物産公社、(株)沖縄物産企業連合、(株)萌すが登壇。）参加者は本協議会を通して地域商社による新たなビジネスモデルや沖縄の国際物流ハブ拠点としての可能性について理解を深めました。

パッケージデザイン展2017

「パッケージデザイン展2017」では、市場ニーズに合わせてリデザインした商品パッケージを展示・紹介しました。展示したパッケージは、沖縄大交易会のターゲットに合わせ、台湾・香港販路及びインバウンド需要の開拓に取り組む県内外企業の9商品を対象に、県内デザイナー6名、県外デザイナー1名、デザインを学ぶ学生26名がリデザインを実施したもので、現地ニーズに対応するため、全てのパッケージにおいて、台湾包装設計協会または香港デザイナーズ協会がデザイン監修を行いました。

会場で実施したアンケートでは、「日本伝統の形と明るい色合いがよい」といった海外バイヤーからの感想が頂けました。

今後は、来場者アンケートをもとにリデザインされたパッケージの本格商品化を目指し検討を行って参ります。



パッケージデザインの比較展示

11 「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」で糸満市観光まちづくり協議会が優良事例として選定

内閣官房及び農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得の向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することとしています。

農林水産部農村振興課農村活性化推進室

☎098-866-11652



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第4回選定)選定授与式

沖縄県内からは「糸満市観光まちづくり協議会」は、糸満市における教育旅行の受入れや、平成29年度農山漁村振興交付金を活用した、インバウンド向けのモニターツアーや宮廷料理

『2017日米亜医療機器 イノベーションフォーラム沖縄』 を開催しました

世界の医療機器市場は2019年に約50兆円に到達することが見込まれていますが、日本では約8千億円の輸入超過となり、我が国が得意とするものづくり技術が十分に活かされていない課題があります。その一方で、米国ではIPOやM&Aによる資本循環、いわゆるエコシステムにより、魅力的な医療機器を開発するベンチャー企業を育成する仕組みが確立しています。

この状況を踏まえ、日米に加え、医療機器事業者が集積する台湾との広域連携を推進し、アジアとの地理的近接性や、税制優遇などの投資環境を十分に活かすことで、沖縄を拠点としたアジア市場開拓が期待できます。そこで、当局、沖縄県、琉球大学、万国医療津梁協議会で構成する実行委員会を発足し、フォーラム及び関連イベントを開催しました。

フォーラム（11月8日、於…沖縄科学技術大学院大学）では、広域連携の具体的な協働の枠組みを構築するため、各国における法整備やベンチャー創出環境などの議論を行い、

日米及び台湾の医療機関や医療機器事業者、ものづくり企業など、約200人が参加しました。

また、PITCH（11月9日、於…カプリゾート）では、日米及び台湾の潜在的な医療機器開発技術や製品アイデアを26団体が発表し、約100人の参加者と活発な意見交換を行い、大いに盛り上がりました。

今後は、日米及び台湾と広域連携を深化させ、ビジネスモデル構築などにより、沖縄を医療機器開発の拠点化に向けた取組を推進します。



フォーラムの様子

新たな 自動車検査員誕生 ～11月6～9日開催の教習結果～

自動車検査員をご存じでしょうか。車を持つている方は、2年に1回車検を受けていると思います。県内にある車の約75%が、国が指定した民間の整備工場でこの検査が行われています。そこで点検・整備した車が車検の基準に適合しているかどうかを確認する方が、自動車検査員です。県内では約1,000人の自動車検査員が働いています。

彼らは、制動力、ヘッドライトの明るさや向きなどを機器にて測定し、各種装置の機能が正常なのかなどを確認します。車検制度の一翼を担う彼らの仕事は安心安全な車社会の形成に欠かせない責任重大なものと言えます。

一定の資格（整備士免許）と実務経験がある方が、当局の教習を受講し、試験に合格すると自動車検査員になることができます。今年は105名がこの教習に挑み、新たな自動車検査員が39名誕生しました。自動ブレーキ搭載車やEV車など



試験の様子

公共交通事故被害者等 支援フォーラム

「公共交通事故被害者等支援」の取組

公共交通の事故被害者から事故の状況や事故原因に関する情報提供および心のケアなどの支援を国としても検討して欲しいと継続的な要請があり、それを受けて国土交通省では、平成24年4月に「公共交通事故被害者等支援室」を設置しました。沖縄においては、沖縄総合事務局運輸部企画室が本業務を行っています。

事故が発生した場合の主な業務としては、公共交通の事故による被害者やそのご家族に対して、生活支援・経済支援・心身のケアなどの様々な相談窓口として対応し、関係機関などのご案内を中長期にわたり行っております。

平時においては、公共交通事業者に対して、被害者への情報提供窓口や相談受付体制などについて定めた「被害者等支援計画」の策定、被害者やご家族に寄り添った対応についての周知活動を行っています。

フォーラム概要

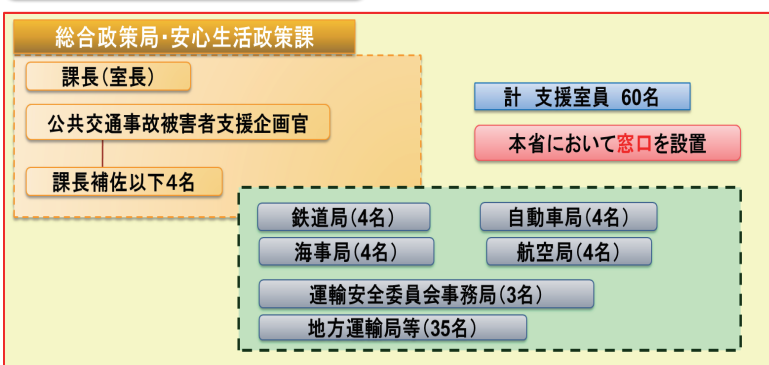
平成29年10月6日に沖縄総合事務局で公共交通事故被害者等支援フォーラムを開催しました。

今年度は運輸安全マネジメントに関する知識の周知啓発を行う「運輸安全マネジメントセミナー」と共同開催としたことから前年度の参加人数を上回る参加者となりました。

本フォーラムでは、安全意識の啓発や公共交通事業者による被害者等支援計画策定の意識などを改めて認識していただくことを主旨とし、併せて安全対策や被害者支援についての国の取組を紹介しました。

当日は、被害者を支援する立場からは、公益社団法人 沖縄被害者支援ゆいセンターの犯罪被害者支援活動責任者の与那覇長次氏に当センターが行っている支援の現状、また支援することの大切さ、難しさなどについて、また、独立行政法人 自動車事故対策機構 沖縄支所長の宮良英男氏に当機構が行っている被害者支援の取組状況などについてご講演いただきました。

公共交通事故被害者支援室の体制



①公共交通事故被害者等支援室の体制

公共交通事故被害者支援室の主な業務

- 【事故発生直後の対応】
 - 事故被害者の搬送先病院等において支援活動、相談窓口の周知活動（コンタクトカード、チラシ配布）を実施
 - 常設の窓口のほか、必要に応じ事故現場の近くなどに相談窓口を設けて被害者等からの相談・要望に対応
- 【事故発生後、中長期的対応】
 - 窓口における被害者等からの生活支援・経済支援・心身のケア等に関する相談への対応及びコーディネート
 - 事故調査、安全対策に係る被害者等への説明会の開催
- 【平時における対応】
 - 支援員に対する教育訓練の実施（被害者等支援に係る研修の実施・受講等）
 - 公共交通事故被害者等支援フォーラムの開催
 - 交通事業者による被害者等支援計画の策定促進
 - 公共交通事故被害者等支援懇談会の開催、関係機関等とのネットワーク構築（警察、消防、医療機関、地方公共団体、日本赤十字社、被害者団体、「心のケア」専門家、犯罪被害者支援関係NPO等）など

②公共交通事故被害者支援の業務



③フォーラム参加者

自動車保有関係手続の ワンストップサービス(OSS) 運用開始

～利用者利便の向上を目指して～

【運輸部】

OS Sを利用することにより、申請代行手数料や事務負担の軽減が期待され、自動車販売会社や自動車整備事業者などにおいては、業務の効率化や生産性の向上につながるのではないかと考えられます。

自動車登録手続は、身近な手続きであるにも関わらず、それぞれの機関へ申請をしなければならぬため、初めて申請する方の負担は大きいものだと思いますが、OS Sを利用することにより利用者利便の向上が図られるものと期待するところです。

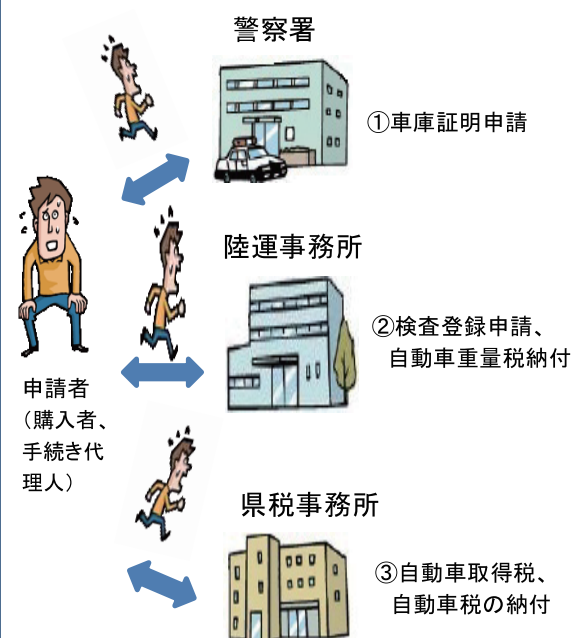
さあ、あなたもチャレンジしてはいかがでしょうか。

陸運事務所、宮古及び八重山運輸事務所では、平成29年4月からの継続検査に続き、10月からは自動車保有関係手続のワンストップサービス（以下「OS S」という。）の運用を開始しました。平成17年に東京、大阪などからスタートし、沖縄は全国で13番目の実施となりました。

これまで、自動車を保有する際には、陸運事務所及び運輸事務所への申請だけでなく、警察署への自動車保管場所証明申請や自動車税事務所への自動車税申告など事前に関係機関に出向いて、それぞれの手続きをする必要がありました。今回新たにインターネットを活用したシステムを利用することによって簡単に手続きを行うことができるようになりました（自動車検査証の受取などのために1回は事務所などへの来所が必要です）。

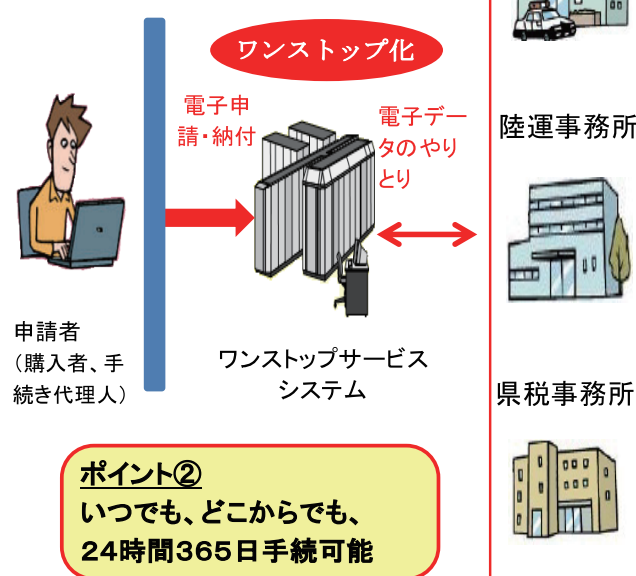
窓口手続

○申請・納付手続のため、各機関を訪れる必要あり



ワンストップサービスを利用

ポイント①
全ての申請・納付手続がオンラインで一括して行うことが可能



ポイント②
いつでも、どこからでも、
24時間365日手続可能

※手続の終了後に、警察・陸運事務所において、保管場所ステッカーおよび車検証の受取が必要。
なお、窓口手続は従来通り可能。

窓 16 バリアフリー教室 in 宮古島市

仕事の窓
【運輸部】

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者などに対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、11月21日に、宮古島市でバリアフリー教室を開催しました。宮古島市は平成25年度に県内で初めて「バリアフリー基本構想」を策定し、バリアフリー化の推進に取り組んでいます。

当日は、宮古島市、NPO法人バリアフリーネットワーク会議、OTTO(株)からの協力を得て、沖縄県宮古合同庁舎で開催しました。

「誰もが安心して利用できる商店街に向けて」をテーマに、高齢者疑似体験などを交えた講演を行った後、参加者が班ごとに分かれ、障がい者、高齢者の視点から意見交換、発表などのワークショップを行いました。また、宮古総合実業高校の学生が実施した

市街地周辺のバリアフリー状況などの点検結果についての発表を行いました。

講演、ワークショップを通して、身の回りの施設や設備などが障がい者や高齢者などにも利用しやすいように整備されていることや、どういう役目をしているか学んでもらいました。

今回のバリアフリー教室を終えて、参加者から「色々な障がい、老化の度合いがあつて、それぞれの状態の方々にフィットするような街作りが必要だと思った。」「講演での、バリアフリーの取組みを通して、新たな需要を喚起するという視点はとても重要だと思った。」「高齢者や障がいのある人の立場になって考えたいと思った。」「観光が今後さらに拡大していくので、バリアフリーの街作りについて考えていきたい。」などの意見をいただきました。

沖縄総合事務局としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っています。

【講演】



【ワークショップ】





訪日外国人旅行者向け マナー動画の作成

沖 縄県を訪れる観光客は急増しており、平成28年度の旅行客は前年比10%増の876万人となり過去最高を記録し、特に訪沖外国人旅行客は212万人（前年度比27%増）と急増しており、今後も増加が見込まれております。

一方でこれら諸外国と日本（沖縄）のマナーなどの違いにより施設側や地元住民が混乱をきたしている事例もございます。

このような状況に対処するため、受入自治体や商店などの観光施設においても店頭などにマナーの説明を掲示するなど工夫を凝らしているところですが、更なる普及啓発に向け、特に外国人観光客の多い受入施設や観光関係事業者などの事業所80カ所以上に聞き取り調査を行い、周知の要望が高い地元の商店街や飲食店やホテル、交通機関、公共施設などでトイレの使用方法、食事のマナー、商品の購入方法、ゴミの捨て方、大声で話す、白タク（※）の利用防止に関する項目について、普及啓発のためのマナー動画を作成しました。

平成29年10月8日（日）～平成30年3月末頃まで、那覇空港国際線ターミナルの入国審査場内に110インチの大型モニターを設置して、那覇港クルーズターミナル（若狭クルーズバース）においても既存のモニターを使用して、効果検証を図るために、実証放映を実施しております。

（※白タクとは自家用車を使用して無許可でタクシー行為をすること）



空港入国審査場の110インチモニター



那覇港（若狭）クルーズバース内のモニター

作 成した動画は、食事のマナーとしてビュッフェでは取り過ぎない、公共の場所では大声で話さない、商品の買い方として清算前の商品は開封しない、ゴミ箱以外の場所にゴミを捨てない、トイレトーパーは水と一緒に流すこと、白タク行為は違法で利用することは大変危険です。など、9項目について、1項目約30秒で、全体で4分30秒程度で周知する内容となっております。

注意ばかりだと折角沖縄に来てくれた海外の方々の気分を害して、動画を見て頂けないので、最初にマハエちゃんが沖縄の青い海や自然、歴史や文化などを紹介し、最後も沖縄の文化や日本の習慣を知って楽しい旅を、と締めくくするような構成となっております。

マナー周知に入る前の沖縄の紹介



《 内閣府だより 》

次世代を担う高校生が話し合う！ ～『「世界津波の日」2017高校生島サミット in 沖縄』～

平成29年11月7日から8日にかけて、津波被害の歴史を持つ沖縄で、次世代を担う国内・国外の高校生を招き、防災分野で活躍する将来のリーダーの育成を図ることを目的に、『「世界津波の日」2017高校生島サミットin沖縄』が開催されました。

江崎大臣はサミットの開会式に出席し、参加高校生の皆さんが沖縄の自然や文化に触れ、地元の高校生との交流を深めるとともに、将来防災のリーダーとして国内外で活躍されることを期待している旨、挨拶をしました。



参加高校生を激励する江崎大臣



開会式で挨拶をする江崎大臣



全体集合写真

あかま副大臣の沖縄訪問

あかま内閣府副大臣は、平成29年11月27日に沖縄コンベンションセンターで開催された「沖縄大交易会2017」に合わせ、副大臣就任後初めて沖縄を訪問しました。

「沖縄大交易会2017」では、オープニングセレモニーで来賓として祝辞を述べた後、国内のサプライヤーと国内外のバイヤーが多数参加する個別商談会の模様を視察しました。

また、国立戦没者墓苑への参拝・献花や、沖縄科学技術大学院大学（OIST）、那覇空港第2滑走路建設地等の視察を行いました。



「沖縄大交易会2017」でテープカットをするあかま副大臣（右から2番目）

山下政務官の沖縄訪問

山下内閣府大臣政務官は、平成29年12月25日に北部訓練場返還地の引渡式典に出席しました。

この式典は、平成28年12月に返還された北部訓練場の過半約4,000ヘクタールについて、返還後の支障除去が終わり、所有者の皆さまへ土地が引き渡されることとなったことから開催されたものです。

また、国立戦没者墓苑への参拝・献花や、平和の礎、那覇空港第2滑走路建設地等の視察を行いました。



北部訓練場返還地引渡記念祝賀会で挨拶をする山下政務官



平成29年度

国有財産一般競争入札（期間入札）のお知らせ



お知らせ
Information

- 公 示 日 平成29年12月14日（木）
- 受付期間 平成30年1月9日（火）午前9時～1月19日（金）午後5時まで
- 開 札 日 平成30年2月6日（火）午前10時から

- ① 個人・法人どなたでも参加できます。
- ② 一般競争入札は郵送（必着）又は持参による受付となります。
- ③ 一般競争入札に参加するには入札金額（**最低売却価格ではない**）の5%以上の入札保証金が必要です。
- ④ 登記簿地目が畑となっている物件については、**落札後に農業委員会等への許可もしくは届出の手続きが必要**となります。

最低売却価格以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売ります。

物件番号	所在地	現況地目 (登記簿地目)	面積 (㎡)	坪数	最低売却価格	用途地域 (建ぺい率/容積率)
2901	名護市大北一丁目3955番5	宅地 (宅地)	2,060.03㎡	約624坪	93,616,000円	第一種低層 住居専用地域 (40%/80%)
		住宅建 (RC3階建)	建)170.00㎡ 延)447.45㎡	約52坪 約136坪		
		住宅建 (RC3階建)	建)290.28㎡ 延)646.38㎡	約88坪 約196坪		
		雑屋建 (RC1階建)	建)16.00㎡ 延)16.00㎡	約5坪 約5坪		
2902	名護市宮里七丁目1425番2 外3筆	宅地 (宅地)	1,485.07㎡	約450坪	34,000,000円	第一種中高層 住居専用地域 (60%/200%)
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28㎡ 延)293.45㎡	約40坪 約89坪		
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28㎡ 延)293.45㎡	約40坪 約89坪		
2903	欠番					
2904	豊見城市字平良大城原240番 198	宅地 (宅地)	1,280.42㎡	約388坪	54,900,000円	第一種低層 住居専用地域 (50%/100%)

入札に関する詳細は
右記までお問い合わせ下さい。

沖縄総合事務局 財務部 統括国有財産管理官
電話 098-866-0097 (担当: 瑞慶覧・池原・東盛)
那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館10階



ホームページアドレス

<http://www.ogb.go.jp/zaimu/007612.html>

沖縄総合事務局 国有地

入札情報を随時発信するメールマガジンへの登録は

<http://www.kokuyuzaisan-info.mof.go.jp/kokuyu/>

国有地 メールマガ



buffetでは取り過ぎない



大声で話さない



清算前の商品は開封しない



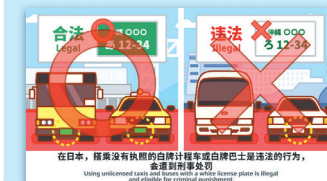
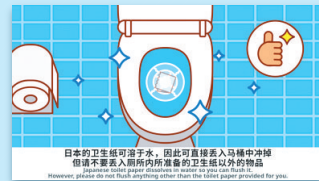
ゴミのポイ捨てはしない



ゴミは分別して捨てましょう



日本のトイレトペーパーは水に溶けますので、一緒に流してください
ただし、備え付けのトイレトペーパー以外は流さないでください



許可を受けていない白ナンバーのバス・タクシーは違法
事故などの際に、保証が受けられない可能性がある



訪れる国によって、文化や風習は千差万別。沖縄の文化や慣習を知ってもらい、楽しい時間を過ごせますように
では、気をつけていってらっしゃい



一 方、外国人観光客だけに習慣の違いを周知する
だけではなく、飲食店やお土産品店などの受
入施設側や観光協会などにもアジア圏の風習・習慣の
違いを知っていただき、双方の理解を得ることが必要と
思われることから、中国・台湾からの留学生と受入施設
とで、ワークショップを開催し、受入側で対応すべき
ことや、すぐにできる改善策などを話し合っていました。

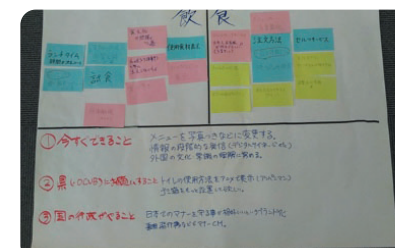
話し合いの中で、トイレの使用方法など、中国・台
湾のトイレトペーパーは水に流れないこと、また、配
水管が細く詰まりやすいことや、中華圏では、食事を
余る程提供するのが、おもてなしとされ、全部食べき
ると足りなかったとのサインになるなど、双方の違いが理
解し合えたものと思います。



ワークショップの様子



トイレトペーパーの説明



各グループでの課題討議内容

マナー動画ホームページリンク先（沖縄総合事務局ホームページ）

<http://www.ogb.go.jp/unyu/index.html>

以上のURLから下記のバナーをクリック



簡体字版



繁体字版

また、今回作成した動画につきましては、各観光
協会へDVDをお配りしており、放映を希望している
一部の商業施設へもDVDをお配りしております。

是非とも活用していただきたいと考えております
ので、右記のサイトより、動画がダウンロードでき
るようになっておりますので、自由に使用していただ
いて結構です。